

日医発第 1758 号（地域）

令和 6 年 1 月 8 日

都道府県医師会
担当理事 殿

公益社団法人日本医師会
常任理事 細川 秀一
（日本医師会災害対策本部 JMAT 本部長）
（公印省略）

令和 6 年能登半島地震における JMAT 活動について

貴会におかれましては、この度の標記 JMAT（日本医師会災害医療チーム）の編成・派遣にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

JMAT の派遣につきましては、令和 6 年 1 月 5 日付（日医発第 1735 号（地域））の本会文書及び同年 1 月 4 日付（石医発第 398 号（業 280））の石川県医師会文書において、「派遣期間：1 月 5 日より当分の間、派遣チーム：各日、被災県医師会チームを含む 30～40 チームを目途」等としているところです。現時点においても、それだけの JMAT の需要は依然としてであると捉えております。

他方、当初の想定を超えて、避難所等の把握と DMAT によるアセスメントが遅れていること、道路状況等の交通事情が深刻であることから、1 月 8 日現在、JMAT の活動範囲は主に七尾市や穴水町地域を対象としております（交代等で日にちが重複する例あり。他に先遣 JMAT 等）。

つきましては、別添の通り、「令和 6 年能登半島地震 JMAT 派遣の要請について」として今回の JMAT 派遣体制を取りまとめましたので、ご高覧の上、今後の JMAT の編成・派遣にご尽力いただきますようお願いいたします。

なお、JMAT は、到着されましたら、石川県庁 11 階に設置した「石川県 JMAT 調整本部」にお越しくください。また、極力、事故等に備えて衛星電話を携行し、被災地で使用する携帯番号、携帯で見られるメールアドレスと衛星電話は同じものを登録し、被災地で引き継いで下さい。



令和 6 年能登半島地震 JMAT 派遣の要請について

公益社団法人日本医師会

公益社団法人石川県医師会

令和 6 年 1 月 1 日に発生した震度 7 を観測した能登半島地震について、ご支援を表明してくださった関係者の皆様に御礼申し上げます。

日本医師会及び石川県医師会は緊密な連携の下、今般、石川県 JMAT 調整本部を石川県庁内に設置いたしました。

現在、被災地では自衛隊、消防、警察、海上保安庁の懸命な捜索や調査が行われており、医療関係者も展開していますがまだ詳細が把握できていない状況です。先に入って活動をしている DMAT による病院支援、避難所や介護施設などの調査が進められています。

JMAT として、1 月 3 日に石川県知事より派遣要請を受けて、同日に先遣 JMAT を派遣し情報収集に努めてきました。1 月 5 日から順次、石川県内の医療者による被災地 JMAT を中心に派遣しています。1 月 8 日から拡大するため、先に活動している DMAT から情報を共有しつつ、石川県医師会に災害対策本部、その下に石川県庁内に石川県 JMAT 調整本部を設置し、被災地に派遣する JMAT の調整や他機関との調整を担います。また現地活動を円滑にするために、被災地に JMAT 七尾調整支部を能登総合病院内に設置し、現地情報をリアルタイムで集約しながら、JMAT 活動の柔軟かつ迅速な支援を行います。

本日から 1 週間の運用予定として、七尾市（ななおし）、志賀町（しかまち）、富来町（とぎまち）、穴水町（あなみずまち）の避難所支援や介護施設支援などを行い、金沢市や小松市にも被災地から介護度が高い妊婦さん等のための 2 次避難所を設置しますので、そちらの支援も行います。順次拡大していく予定です。

現在、まだ急性期ですべてはまだ途中段階であり、輪島市、珠洲市（すずし）、能登町（の

とまち)はDMATによる病院支援が始まり、避難所調査を開始して全容が明らかになりつつあります。JMATとしては長期間にわたる支援体制を構築するためにも、まずは七尾市を中心に志賀町、富来町、穴水町の避難所や介護施設などの調査・支援体制を確立させる予定です。

1月7日より自衛隊によるローラー作戦もはじまりました。これらを困難にさせているのは道路の断絶、渋滞、断水、天候不良によるヘリの使用不可、海岸隆起による支援船の接岸不可などが挙げられます。車での支援、船での支援ができていなかった状況でしたが、その一方でヘリでしか行けない場所があるとの報告もあげられています。そのためJMATは先に入っているDMATと共に活動しつつ、医療・保健・介護・福祉関係各団体と連携しつつ、被災者に対して長期間かつ幅広い支援をする必要があると判断しました。

まだ検死すら終わっていないご遺体があり、電気も水道も使えない避難所が数多くあります。JMATとしても被災地が求めているニーズに柔軟に適応して頂き、長期間にわたり石川県に寄り添い、一緒に被災地域の医療者の支援と住民の生命と健康を守って頂けたらと思っています。

詳細は下記のとおりです。

記

派遣要請都道府県：全国の医師会にJMAT派遣を要請いたします。

- (1) 参集日時：1月8日(月)から、順次拡大予定です。
- (2) 活動地域：七尾市、志賀町、富来町、穴水町、順次拡大予定です。
- (3) 七尾市にある能登総合病院内に能登医療圏DMAT活動拠点本部があり、その一角にJMAT七尾調整支部を設置しました。

派遣隊の条件：可能な限り被災地へ負担をかけないために、以下の条件をお守り下さい。

- (1) **自己完結型**をお願いします

七尾市、志賀町、穴水町は、断水が続いています。ほとんどの場所では、トイレも使えません。七尾市にはコンビニがありますが、それより北は全く別世界という状況です。事前に食事の準備やトイレを済ませてから移動して下さい。医療ゴミなども含めて持ち帰りの可能性があります。また派遣前に隊員の健康チェックを行い健康に留意して下さい。出発前のインフルエンザや新型コロナウイルス感染症等のチェックを行ってください。

(2) 活動期間

被災地域で石川県までの移動時間を除いて被災地では3日間の活動ができる準備をお願いします。派遣期間がそれよりも短い場合は所属する医師会で次に派遣される JMAT と円滑な申し送りが出来ることが条件です。その時までには次のチームに被災地の状況を伝えて、必要な医薬品や医療資機材などを調整して持ってきて下さい。

(3) 活動体制について

まずは、石川県庁 11 階 1102 会議室にある石川県 JMAT 調整本部（県保健医療福祉調整本部内）で、チェックインをしてください。道路状況などの情報提供させて頂いたのち、被災地の各調整支部（現在は七尾市の能登総合病院内）へ移動してください。移動中や活動中に携帯電話が通じないところがあります。極力、事故等に備えて衛星電話を携帯してください。担当する避難所や介護施設、被災地の状況については、確実に把握して活動するためにも派遣された都道府県の同じラインの派遣チーム同士で、現地で引き継ぎ会議をお願いします。また、被災地で使用する携帯番号、携帯で見られるメールアドレスと衛星電話は同じものを登録し、被災地で引き継いで下さい。その時に、毎日、七尾調整支部への報告と報告書の作成、必要に応じて石川県医師会、石川県 JMAT 調整本部を中心に、日本医師会、全国の医師会とネット会議を使用し情報共有する予定です。

(4) 宿泊について

各所属医師会で確保をお願いしております。被災地内のホテル予約は厳しい状況です。七尾市にある程度確保しましたが、金沢市など少し遠い県内のホテルか、氷見市、高岡市など富山県での宿泊となる可能性があります。JMAT 調整本部でも、ホテルを確保で

きるか調整中です。

(5) 通行について

石川県外から自前の車両で移動する場合は、極力、地元の警察署で緊急通行車両確認証明書を発行し、常に車に携帯して通行してください。また石川県まで航空機や新幹線などで来てレンタカーを使用して移動する場合は、医療従事者である ID(医師資格証等)を所持して、「別紙 1」の医療救護活動証明書をコピーして車内に設置して石川県内を活動して下さい。渋滞対策などで県内の通行規制が厳しくなった場合は、レンタカーでも石川県内の警察署で緊急通行車両確認証明書を発行して頂けます。その場合は、緊急走行用のマグネット式の標識を装備して下さい。

(6) 携帯する装備について

日本医師会ホームページにある、J M A T 携行資器材リストや携行医薬品リストを参考にして下さい。一部地域では携帯が使用できません。また雪などの天候も予想されています。衛星電話の携帯やスタッドレスタイヤの装着、またタイヤがパンクして立ち往生している報告もあるためパンク時の対応、防寒の用意などができるようにして下さい。状況によっては被災地の病院内や車内で宿泊する可能性がありますので、その準備と心構えをお願いします。断水しており移動中のトイレはできないため、携帯トイレなどの準備をしておいてください。また手洗いができないので、アルコール消毒等の用意をしてください。

(7) 七尾市から被災地域までの移動について、道路状況は改善されてきていますが渋滞や路面状況により、片道 3 時間から 5 時間ほどかかっている状況です。日の出は 7 時、日の入りは 17 時ですので、活動時間は 2 時間から 8 時間程度という状況です。

(8) 道路状況については、ISUT というシステムで発表された情報が発信されていますが、毎日交通規制の情報が変わってきています。県からの情報を基に実際に移動してみると、今日は通れないなどの状況があります。また雪などの天候不良により通行規制がかかり被災地に行けない、被災地から戻れないなどの状況があります。その場合は被災地の病院か車両内で宿泊することもあります。被災地域の石川県 JMAT 調整本部、各調

整支部（現在は七尾調整支部として七尾市の能登総合病院、今後順次拡大予定）や警察から情報を収集しつつ安全に移動をお願いしています。

- (9) まだご遺体が増えてきている状況です。そして心が傷ついている被災者もいます。被災地活動になれていない方は被災地の状況で心を被災されないよう、事前に JMAT 内でブリーフィングを行って下さい。
- (10) 長期間にわたる支援のなかには、本来の JMAT の役割と違うと思われる支援があるかもしれませんが、どうか被災地域のニーズに応じて頂けたらと思います。その後、調整をしていきたいと思いますので、その時はどうかご支援下さい。
- (11) 被災地域での活動後はかなりの確率で精神的に高揚した状態になります。通常業務に戻る前に、派遣先への報告と報告書の作成、そして隊員内で振り返り、必ず休息を確保して下さい（できれば戻る途中でゆっくり宿泊して戻ることも検討してください）。また各所属に戻ってきた際には、温かく迎える環境を整えて下さい。そして被災地では多くの困難や不自由なことがあり、うまくいかないことも多く発生します。そのような中であっても責任者は、みんなが頑張ったという気持ちで、同僚に対して接して下さい。
- (12) 被災者との会話には注意してください。例としてはこども達からまた来てねと言われて、また来るよと言ってしまい、彼らが期待する期間にもどって来られない場合など、ご注意をお願いします。
- (13) 被災地域住民や活動する方々の中には、精神的な高揚のため攻撃的になる場合があります。冷静に適切に接してください。皆様の活動の中には一般的な診療だけでなく、メンタルケアの要素も入っています。
- (14) 被災地が元に戻るには半年以上、地域医療が元に戻るまで1年以上かかる状況です。どうか無理のない活動範囲で、続けて長期間にわたるご支援をお願いします。
適宜、追加でお願いが増えると思われれます。

石川県 JMAT 調整本部	調整担当：秋富慎司（あきとみしんじ）
緊急連絡先 携帯 1：	
メールアドレス：	